

- 問1 日本の高速道路のルート選定と構造について、東海北陸自動車道のような山地を通る路線に共通して見られる特徴と、その理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2023年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 地形の起伏による走行への影響を抑えるため、トンネルを多用して直線的に建設する。 | 2. 河川の氾濫による浸水被害を避けるため、橋梁（橋）を連続させて路面を高くする。 | 3. 都市部を通る際の土地買収費用を抑えるため、トンネルを中心とした地下構造にする。 | 4. 工事による土砂崩れや自然破壊を最小限にするため、既存の登山道に沿って迂回を繰り返す。 |
|--|---|--|---|
- 問2 東京都中央卸売市場におけるレタスの月別出荷量を調査した資料において、6月から9月にかけての出荷量が突出して多く、反対に平地である茨城県や静岡県からの出荷が減少している地域があります。この地域における農業の特徴として最も適切な説明はどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 宮崎県などの温暖な地域で、冬の暖かい気候とビニールハウスを利用して出荷を早める促成栽培が行われている。 | 2. 北海道などの広大な土地を利用して、機械を用いた大規模な土地利用型農業が行われている。 | 3. 茨城県などの大都市に近い地域で、輸送コストを抑えて新鮮な野菜を届ける近郊農業が行われている。 | 4. 長野県などの標高が高い地域で、夏の涼しい気候を利用して出荷時期を調整する高冷地農業が行われている。 |
|--|---|---|--|
- 問3 中部地方の4つの県（新潟県、富山県、長野県、愛知県）を比較した統計において、面積が約1万3562平方キロメートルと4県の中で最も広く、かつ果実の産出額が約557億円に達し、他県（約22億円～207億円）と比べて際立って高い数値を示している県はどこか、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 富山県 | 3. 長野県 | 4. 新潟県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問4 東海道新幹線が結ぶ「東名阪（東京・名古屋・大阪）」の三大都市圏において、静岡県と岐阜県に挟まれた地域に位置し、中部地方の経済や交通の要所となっている都道府県を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 岐阜県 | 3. 静岡県 | 4. 滋賀県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 中部地方には、日本の屋根と呼ばれる標高3000メートル級の山々が連なる地域があります。このうち、北陸新幹線の福井駅から軽井沢駅へ toward かう路線の近傍に位置し、「北アルプス」の別名でも知られる険しい山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 日高山脈 | 2. 木曽山脈 | 3. 赤石山脈 | 4. 飛騨山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 中部地方の内陸部、岐阜県に位置する白川郷では、急傾斜の茅葺き屋根を特徴とする「合掌造り」の家屋が見られます。この地域でこのような独特の建築様式が発達した理由として、自然環境の面から説明した次の文のうち、最も適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 夏季の高温多湿な気候において、屋根裏の通気性を高めて室内の温度上昇を抑えるため | 2. 山間部で土地が狭いため、屋根を高くすることで居住スペースを垂直方向に広げるため | 3. 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため | 4. 台風の通り道にあたるため、激しい風雨に耐えられるよう屋根の面積を広げて安定させるため |
|--|--|--|---|
- 問7 日本の都道府県別の工業出荷額の内訳において、パルプ・紙・紙加工品の割合が約4.9%を占めており、かつ輸送用機械器具の割合が約25.6%と極めて高くなっている都道府県はどこか。（2021年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 愛媛県 | 3. 北海道 | 4. 静岡県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 北陸地方では、輪島塗（石川県）や越前和紙（福井県）などの伝統的工芸品の生産が古くから盛んです。この背景にある、自然環境と当時の農家の暮らしの関係を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 夏の期間が非常に短く、冷害によって稲作が不安定であったため、工業への転換が急がれた。 | 2. 冬の積雪量が多く、戸外での農業を行うことが困難であったため、農閑期の副業として発達した。 | 3. 年間を通じて雨が少なく、農業用水の確保が難しかったため、水を使わない産業が推奨された。 | 4. 土地が痩せていて農作物の収穫量が少なかったため、通年で工芸品の生産が主な収入源となった。 |
|---|---|--|---|
- 問9 中部地方の日本海側に位置し、能登半島を擁する石川県では、冬の積雪期間が長いといった気候条件もあり、古くから農家の副業として様々な手工業が発達しました。この地域で生産される、落ち着いた色使いや写実的な草花模様を特徴とする伝統的な染物の名称として適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 加賀友禅 | 2. 博多織 | 3. 西陣織 | 4. 江戸小紋 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問10 名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。（2018年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------------|----------|------------|
| 1. 非鉄金属工業 | 2. 窯業・土石製品工業 | 3. 食料品工業 | 4. パルプ・紙工業 |
|-----------|--------------|----------|------------|
- 問11 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という険しい山々が並ぶ地域や、その南側の富士山に近い地域で見られる気候の特色について、正しい説明はどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 黒潮の影響を強く受けるため、一年を通じて温暖で降水量が多い太平洋側の気候となる。 | 2. 季節風が山脈を越えてくるため、冬には日本海側特有の平野部よりも多い降雪が一年中続く。 | 3. 標高が高いため、一年を通じて湿った空気が流れ込み続け、国内で最も降水量が多い地域となる。 | 4. 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。 |
|---|---|---|---|
- 問12 山梨県において、ブドウをはじめとする果樹栽培が盛んな理由の一つに、甲府盆地周辺の特殊な地形が挙げられます。山地から流れてきた川が平地に出る場所に土砂が堆積して形成された、果樹栽培に適した水はけの良い地形を何といいますか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|-----------|--------|
| 1. 三角州 | 2. 扇状地 | 3. カルスト地形 | 4. 干拓地 |
|--------|--------|-----------|--------|
- 問13 中部地方の政治・経済の中核を担い、愛知県の県庁所在地となっている都市はどこか。この都市の周辺では中京工業地帯の中心として、自動車工業をはじめとする製造業が高度に発達している。（2026年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| 1. 津市 | 2. 岐阜市 | 3. 名古屋市 | 4. 静岡市 |
|-------|--------|---------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地形の起伏による走行への影響を抑えるため、トンネルを多用して直線的に建設する。	高速道路は高速走行を前提としているため、急なカーブや激しい高低差を避ける必要があります。山岳地帯においてこの条件を満たすためには、山を迂回するのではなくトンネルで貫通させる手法が取られます。これにより、東海北陸自動車道などの路線では、平野部の路線に比べて構造物（トンネルや橋）の比率が極めて高くなり、建設コストや技術的な難易度も上昇する傾向にあります。
問2	答え 4 長野県などの標高が高い地域で、夏の涼しい気候を利用して出荷時期を調整する高冷地農業が行われている。	資料にある「6月から9月にレタスの出荷がピークを迎える」という特徴は、高冷地における抑制栽培の典型的なパターンです。長野県などの高冷地は、夏でも気温が上がりにくいという気候的利点を持っており、平地（茨城県や静岡県など）の出荷が減る端境期（はざかいき）を狙って出荷することで、高い利益を得る工夫をしています。この地理的背景を理解することが重要です。
問3	答え 3 長野県	長野県は中部地方で最大の面積を持ち、その多くを山地が占めています。内陸の盆地を中心とした地形は、冷涼な気候や日当たりの良さを生かした果樹栽培に適しており、リンゴやブドウなどの産出額が近隣県に比べて非常に高いのが特徴です。一方、新潟県は米、愛知県は野菜や花の産出額が高いという異なる特徴を持っています。
問4	答え 1 愛知県	東海道新幹線は日本の主要都市を最短距離で結ぶよう設計されています。静岡県から西に向かう際、鈴鹿山脈などを避けて関ヶ原方面（岐阜県）へ抜ける前に、広大な濃尾平野を有する愛知県を通過します。この地理的条件により、愛知県は東日本と西日本を結ぶ交通の結節点として重要な役割を担っています。
問5	答え 4 飛騨山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つの山脈が並んでおり、これらを総称して日本アルプスと呼びます。北陸新幹線のルートは、石川県や富山県といった日本海側の地域から長野県の内陸部へと抜ける際、最も北側に位置する飛騨山脈の裾野を通る形になっています。日高山脈は北海道に位置する山脈であるため、位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問6	答え 3 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため	白川郷は日本有数の豪雪地帯であり、冬には数メートルもの雪が積もります。合掌造りの急な屋根（約45度から60度）は、雪が滑り落ちやすくなることで屋根にかかる荷重を減らし、家屋の倒壊を防ぐ合理的な構造になっています。また、広い屋根裏を利用してかつては養蚕（蚕を飼うこと）が行われていたことも、この建築様式が維持された歴史的背景にあります。
問7	答え 4 静岡県	静岡県は、富士山の湧水を利用したパルプ・紙・紙加工品製造業と、自動車やオートバイなどの輸送用機械器具製造業のどちらも盛んなことが大きな特徴である。選択肢にある北海道や愛媛県も製紙業が盛んな地域として知られるが、輸送用機械の割合がこれほど高いシェアを占めるのは、オートバイ産業の発祥地や自動車工場の拠点を持つ静岡県ならではの特色である。
問8	答え 2 冬の積雪量が多く、戸外での農業を行うことが困難であったため、農閑期の副業として発達した。	北陸地方は日本海側気候に属し、冬には湿った北西の季節風が山脈にぶつかすることで積雪量が非常に多くなります。このため、冬の間は戸外での農業を行うことが物理的に困難となり、農家の人々が屋内でできる副業として伝統的工芸品の技術を磨いてきたという歴史的背景があります。
問9	答え 1 加賀友禅	石川県（金沢市周辺）で受け継がれている伝統的工芸品は加賀友禅です。北陸地方では冬の農閑期の副業として、こうした高度な技術を要する産業が発達しました。選択肢にある西陣織は京都府、博多織は福岡県、江戸小紋は東京都の伝統産業であり、それぞれの地域の歴史的背景に基づいています。
問10	答え 3 食料品工業	名古屋市のような大都市の工業構成では、多くの人口を抱える「大消費地」に近い利点を活かした、消費地立地型の工業が発達する傾向があります。出荷額の14%を占める食料品工業は、パンや菓子、飲料など、都市住民の生活に密着した製品を迅速に供給するために、都市近郊や都市内部に工場が置かれる典型的な事例です。なお、非鉄金属は約8%であり、食料品工業に次ぐ主要な構成要素となっています。
問11	答え 4 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。	長野県や山梨県は日本アルプスなどの高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、降水量が比較的少ない内陸の気候（中央高地の気候）となります。また、盆地は熱がこもりやすく、夜間は放射冷却により冷え込みやすいため、気温の年較差や日較差が大きくなるのが特徴です。
問12	答え 2 扇状地	山地から平地へと川が流れ出す谷口付近には、砂や礫が堆積して扇の形をした「扇状地」が形成されます。扇状地は土の粒が大きく水が地下に浸透しやすいため、水持ちの良さが必要な稲作には不向きですが、水はけの良さが求められる果樹栽培には非常に適しており、山梨県ではこの地形を有効に活用しています。
問13	答え 3 名古屋市	愛知県の県庁所在地である名古屋市は、中部地方で最大の人口を抱える大都市です。中京工業地帯の核として、周辺の豊田市などとともに世界的な自動車産業の集積地を形成しており、経済的に重要な役割を果たしています。